

地域とともに歩む 学校づくり

少子化、核家族化が進む近年、子どもたちの第のよりどころである家庭環境に大きな変化が見られます。また、学校においてもキャリア教育の推進や防災教育をはじめ、今日的な教育課題として、新たな役割が求められています。

こうした中、これからの教育はこれまで以上に学校と家庭、地域の連携協力のもとに進めていくことが重要です。浦安市においても、浦安っ子を地域ぐるみで豊かに、はぐくむべく体制づくりを進めています。



地域の方々から学ぶ茶の湯体験 ～入船北小学校6年生～

学校支援コーディネーターの企画により、東日本大震災で被災された石巻市在住の方による教育講演会が行われました。被災された方の生の声は、どんな映像や書物よりも人々の心に響きます。講演を聴いた生徒たちは、生きるこの大切さを実感し、自分にできることを真剣に考えていました。

また、見明川中学校では、学校

美浜中学校ではコーディネーターと公民館の連携により校内に公民館のサークルの作品を展示しています。



入船南小学校では学校支援コーディネーターが「皆様のご意見をうかがいながら、できることから少しずつ始めていきます」と保護者の方々に学校支援の説明会を行いました。



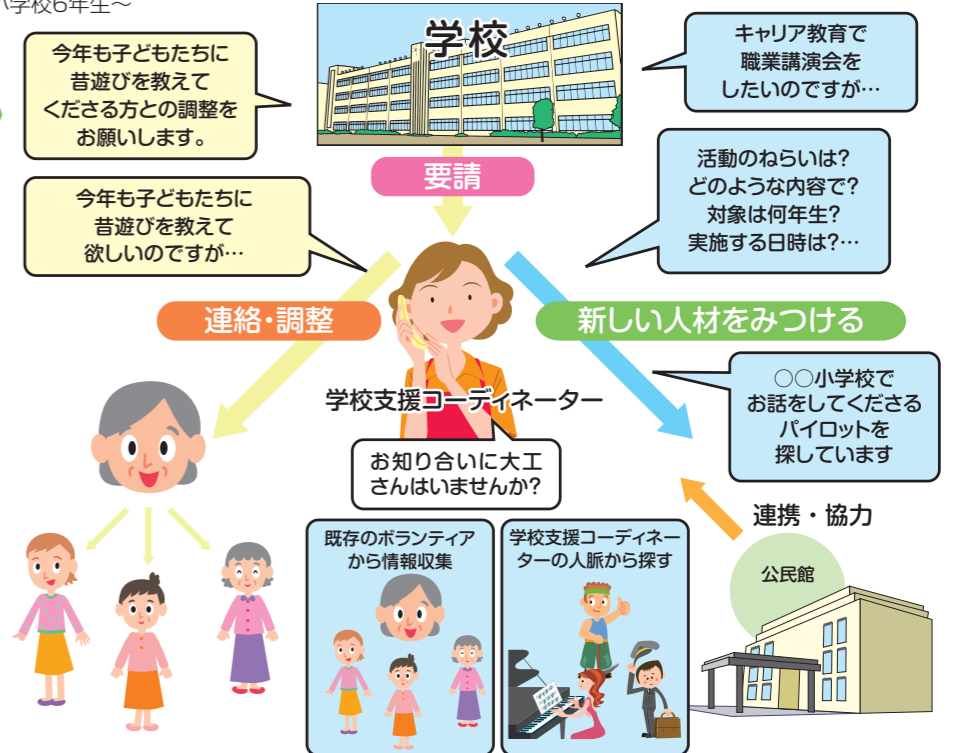
支援コーディネーターの人脈を生かして、地域のさまざまな業種の事業所を開拓し、充実したキャリア教育が行われています。中学校での職場体験は、生徒の職業観、勤労観をはぐくむために重要な活動です。学校支援コーディネーターが中心となり、地域ぐるみで生徒一人一人の興味・関心に寄り添った職場体験を実現させました。

このほかにも学校花壇の整備や登下校時の安全指導、読み聞かせ、昔遊び体験など、学校支援コーディネーターの調整による活動が多くの学校で実施されています。

学校支援コーディネーター 交流会の開催

各学校での取り組みやその成果を市全体で共有するためには、学校の横のつながりや公民館などの生涯学習部との連携が不可欠です。浦安市教育委員会では、学校・地域・行政が「地域とともに歩む学校づくり」の目的や趣旨について共通理解を図るとともに学校支援

学校支援コーディネーターの役割



学校と地域をつなぐ 学校支援コーディネーター

浦安市ではこれまでも、各小中学校で地域の方々にさまざまななかたちでご支援をいただいた活動が行われてきました。

コーディネーターやボランティアのネットワークづくりを進めていくことを目的に交流会を開催しました。交流会は、教頭先生と学校支援コーディネーターやボランティアの方々、公民館長による中学校区ごとの情報交換を中心に行いました。学校が取り組もうとしていることや地域ができる支援などについて活発な意見交換がなされ、参加された方々からは、「有意義だった」「公民



～学校支援コーディネーター交流会～ 情報交換では活発な意見交換がなされました。



学校のニーズとコーディネーター、公民館の役割について話し合ったことを全体で共有しました。

学校と地域が連携すると…

子どもにとって

- 社会性やコミュニケーション能力がはぐくまれます。
- 学習意欲が高められるとともに豊かな体験活動の場が確保されます。
- 安心・安全につながります。

学校にとって

- 授業の充実が図れます。
- 学校をより開かれたものにします。
- 子どもと向き合う時間の拡充につながります。

地域にとって

- 自己実現の場づくりにつながります。
- 地域の方々のネットワークが広がり、地域の絆が深まります。

互恵性

地域の方々と子どもたちとの世代を超えた交流は、感動を伴う体験活動が可能となるだけでなく、人と豊かにかかわろうとするコミュニケーション能力や社会性の育成にもつながり、たいへん意義のあるものです。

そこで浦安市教育委員会では、学校を支援してくださる地域の方々と学校をつなぐことを役割とした学校支援コーディネーターの配置を進めています。学校支援コーディネーターがいることにより、地域の方々による学校支援の輪が広がり、教育活動の充実はもとより、地域ぐるみで子どもをはぐくむ体制づくりの推進が期待できます。

例え、堀江中学校では昨年度、館の役割がわかった。連携していきたい」「定期的に情報交換の場を設けてほしい」などの感想が寄せられました。

今後も交流会を通じて中学校区を中心とした学校・地域間の横のつながりを構築し、地域ぐるみで子どもたちの成長を見守る体制づくりを進めていきます。

常日頃から、自分は大くさんの方々に支えられていることを実感しながらすすくと育つ浦安っ子。

そうした浦安っ子の育成を願い、今後も「地域とともに歩む学校づくり」を進めていきます。

◎ 教育委員会教育政策課
(351)1111 (内)1287